



都田中だより

10月号

令和8年10月26日

横浜市立都田中学校

校長 山根 淳



都田中学校 学校教育目標

～誇り～（学校や自分に自信を持ち、生きる力を育みます。）

確立（学力や体力など確かな力を身につけ、自主自律を育みます。）〔知・体〕

共生（思いやりを持ち、自他を尊重する豊かな心を育みます。）〔徳・公〕

飛翔（夢を持ち、未来を切り拓く力を育みます。）〔開〕

【10月16日（金）さくら祭】

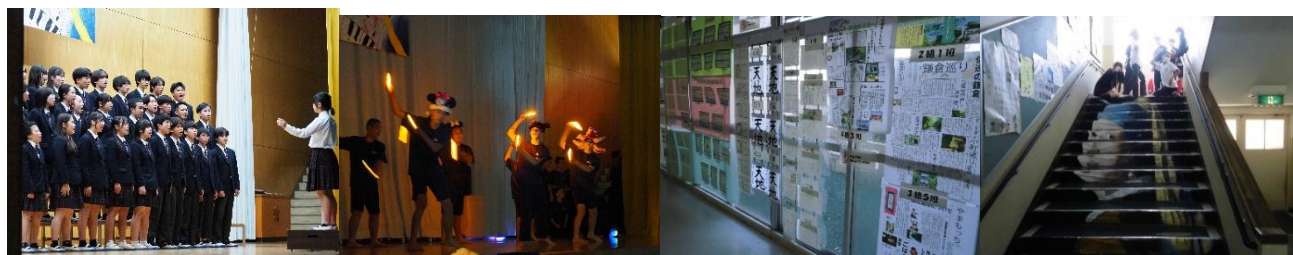
今年度も、さくら祭実行委員長を中心に実行委員の皆さんが早い時期から準備を進め、当日を迎えました。二期制となって初めてのさくら



祭となり、合唱練習の期間はこれまでより短くなりましたが、学級合唱・学年合唱ともに各学級が心をつにして取り組み、素晴らしい発表を披露しました。

また、今年度のスローガンには「個性」という言葉が盛り込まれていました。生徒一人ひとりの個性を大切にしたいという実行委員長の思いから、午後の部では、さくら祭では初めてとなる有志団体による発表を実施しました。歌やダンス、演奏など、それぞれの団体が持ち味を発揮し、会場全体を巻き込んだ大変な盛り上がりとなりました。

生徒たちが仲間と協力しながら一つの行事を創り上げる姿や、自分らしさを表現する姿が数多く見られた、思い出に残るさくら祭となりました。



【二期制】

10月9日（金）に前期終業式を行いました。前週にインフルエンザによる学級閉鎖があったことや、16日に開催されるさくら祭を控えていることから感染症予防の観点によりTV放送で実施しました。

今年度から二期制となり、この日に前期連絡票を生徒へ渡しました。中学校の評価は定期試験の結果だけではなく、小・章テストや技能テスト、レポート、振り返りシート、作品など提出物や成果物など日頃の学習への取組も含めて総合的に評価しています。特に大切にしているのは、授業で学んだ知識や技能を活用し、自分なりの考えをもち、それを自分の言葉で表現することです。提出物においても、学んだことを振り返りながら、自分自身で考えをまとめる姿勢が求められます。

現在、生成AIは私たちの生活や学習に身近なものとなっています。便利なツールである一方、その内

容をそのまま活用するだけでは、考える力や表現する力を十分に育むことはできません。学校では、生成 AI を適切に活用しながらも、自ら考え、判断し、学びを深める力を育てていきたいと考えています。

前期の成績表をご覧ください、お子様の頑張りや成長した点をぜひ認め、励ましていただければ幸いです。また、3 月に配付される成績表は、4 月からの 1 年間の学習状況を総合的に評価したものとなります。後期は今年度のまとめに向けた大切な期間です。お子様が新たな目標をもち、さらに成長できるよう、ご家庭でも声をかけていただければ幸いです。

【各部活動の近況】

部活動	大会名	結果
バレーボール部 男子	横浜市秋季大会	1 回戦○2-0 市ケ尾中 2 回戦×0-2 BAYGUTS 規定により、都田中が 12 月県大会に出場
	横浜市秋季大会	1 回戦○2-0 中川中 2 回戦×0-2 岩崎中
剣道部	都筑区大会新人戦	男子団体 優勝
	市第 5 ブロック予選会 横浜市大会新人戦	男子団体 優勝 3 位 準決勝×0-2 保土ヶ谷中 三決○4-0 いずみ野中

【地域行事参加】

10 月 11 日（日）、中学校グラウンドを会場として、池辺町連合自治会主催の運動会が開催されました。昼食時には本校吹奏楽部が演奏を披露し、参加していた小学生が手拍子をしたり、保護者や地域の皆様が温かく見守る中、会場は和やかな雰囲気になりました。生徒たちは日頃の練習の成果を発揮し、素晴らしい演奏を届けることができました。



また、杉山神社例大祭で披露できなかった「花かご」も披露されました。校長も張り切って挑戦し、疲労が見え始めると会場から温かい声援が送られ、会場は大いに盛り上がりしました。

地域の皆様と交流を深める貴重な機会となり、生徒たちにとっても地域とのつながりを実感できる一日となりました。

【赤い羽根共同募金】

10 月 5 日（月）から 7 日（水）までの朝の登校時間に、生徒会が中心となって赤い羽根共同募金を実施しました。今夏、全国で発生した災害により、今も支援を必要としている方々のために、皆さんから寄せられた **7,001 円** を関係団体へ寄付させていただきました。温かい支援をいただきありがとうございました。

